

「3密」は
おらが地域じゃ



命綱
村長さん

地域づくり研修会 川柳入選作品
(福) 笠間市社会福祉協議会 令和2年7月発行



第 159 号

(令和3年)

発行日 2021年6月17日

発行 笠間市社協東支部

編集 広報委員会

印刷 有限会社 テクノプラン

令和3年度

東支部代議員会の略式開催 支部委員(区長)のみ出席

5月9日、笠間市地域福祉センターともべA館で、令和3年度東支部代議員会が開催された。

令和2年度事業報告、収支決算報告、令和3年度の事業計画案、収支予算案が提案され、執行部の原案が承認された。

令和3年度事業計画

基本方針

「住人の誰もが安心して生活できる環境づくり」という地域福祉の理想に近づくためには、住民同士の連携や助け合いの心はもとより、それらを足元から支える「顔の見える関係」の構築が大切な要件となります。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大という思いもかけない状況の中で、

令和3年度、東支部は4ブロック制という独自の強みを信頼しつつ、一つ一つ活動を通して理解と協力のすそ野を広げ、新しいやや不透明な時代に立ち向かってまいります。



柿橋グラウンドの桜 (撮影 内田利一)

令和2年度収支決算と令和3年度収支予算 (単位は円)

<収入の部>

科目	R02年決算額	R03年予算額	科目	R02年決算額	R03年予算額
繰越金	281,224	705,571	事務費	18,285	20,000
会員会費還元金	1,069,250	1,070,000	会議費	7,910	60,000
福祉コミュニティ助成金	50,000	50,000	組織強化費	29,922	40,000
広報助成金	106,925	107,000	慶弔費	0	20,000
雑収入	4	21,429	事業費	138,209	278,000
			女性部	350,819	540,000
			広報委員会	206,687	250,000
			福祉推進員研修会	0	40,000
			地域活動推進費	20,000	220,000
			予備費	30,000	86,000
			繰越金	705,571	* 400,000
合計	1,507,403	1,954,000	合計	1,507,403	1,954,000

* <支出の部> R03年予算額の繰越金 (400,000円) は災害支援基金

<支出の部>

- 1 地域交流活動の推進
 - (1) 友部小学校との交流
 - (2) 友部特別支援学校との交流
 - (3) 児童の交通安全、防犯活動
 - ・ 通学路立哨活動(登校時)
 - ・ 青色防犯車パトロール
 - ・ 「安全教室」の開催
- 2 人づくり、地域づくり事業への支援
 - (1) 地域交流事業に対する支援
 - (2) 「ふれあいサロン」づくりの推進
- 4 地区敬老会への参画・協力をたどるか予断が許されませんが、いずれにしてもコロナ2年目として、昨年度とは違った工夫が要求されます。これまでの事業がこれまで通り続けられなければ、形を変えた新しい事業の姿を模索しなければなりません。

- 3 高齢者の親睦と健康づくり支援
 - (1) 輪投げ大会
 - (2) グラウンドゴルフ大会
- 4 子どもの健全育成支援
 - (1) 「子ども会事業」への支援
 - (2) 子ども会との交流懇談会
 - (3) 子ども会への活動費助成
- 5 女性部の活動
 - (1) 高齢者福祉活動
 - ① ミニサロン
 - ② 対話と食事会
 - (2) 一人暮らし高齢者への配食サービス(年2回)
 - (3) ふるさとまつりバザー出店
 - (4) 女性部研修会

- 6 広報委員会活動
 - (1) 広報紙「支部だより ひがし」発行(年4回)
 - (2) 広報委員研修会
- 7 福祉推進員研修会
 - 支部委員・福祉推進員との交流研修
- 8 笠間市防犯活動参加協力
 - (1) 市防災連絡協議会の出席
 - (2) 年末特別警戒防犯パトロール出発式への参加
- 9 会員会費の募集
 - 事業推進のために、会員会費を例年どおり皆さんにご協力をお願いし募集する。

「災害支援基金」の創設

令和2年度はコロナ禍により各種事業が中止や規模縮小に追い込まれ、会計上の異例の剰余金を生じる結果となりました。支部では返金その他の方策も考えましたが、積極的に将来の災害等に備える資金として活かそうという結論になり、「災害支援基金」という名目で積立を行うことで、令和3年3月、支部委員会の大筋の了解を頂きました。当基金は通常の事業の補填などには流用せず、その執行については当該期の支部長の判断に一任することになりました。

令和3年度東支部役員 (*は新任)

支部長 鈴木義雄
副支部長 小島力男
副支部長 深谷正孝
副支部長 *橋本八重子
会計 六戸正夫
会計 *藤枝耕平
監事 塩幡高男
監事 *市川芳弘

【女性部】

部長(兼任) *橋本八重子
副部長
*海老澤幸子(南友部)
*中山明美(柿橋)
*友部節子(宮前鴻巣)
*渡辺幸江(五平)

広報委員長 内田利一
民児委員長

*瀧本一(南友部・宮前鴻巣)
*中山務(柿橋・五平)
支部委員代表
*海老澤文範(南友部)
*森博英(柿橋)
*青木勉(宮前鴻巣)
*友常正文(五平)



密を避けた代議員会

新役員の挨拶

副支部長兼女性部長
橋本八重子

この度、女性部長に任命されました橋本です。女性部は地域の高齢者の皆様との「思いやり・絆」の心で、高齢者福祉活動、地域交流活動の推進を基本目標に活動していきます。その中で各ブロックの副部長(ブロック長)を中心に高齢者の皆様とのミニサロン、対話と食事会や小学生の見守りなど、女性部員の協力で特色ある活動を推進してきます。

現在、新型コロナウイルス感染拡大防止が強く求められる中、活動も制限され難しい時期となっています。その中で女性部として地域高齢者の皆様のために何ができるかを全員で検討しながら、これからの活動を進めて行きたいと思っています。



女性部の役員

海老澤幸子 渡辺幸江 友部節子
橋本八重子 中山明美

元気で頑張っています

—菜園は小嶋さんの菜園—

西飯田 小嶋 俊孝さん(88歳)

小嶋 俊孝さんは昭和7年(1932年)、笠間市大洲の農家の長男として生まれ、教師を志して茨城師範学校予科に進学し、昭和30年に茨城大学教育学部を卒業しました。昭和36年には、県立中央病院で看護師として働いていた横山よね子さんと結婚し、翌年に中央病院の向かいに新居を構えました。

教師生活の最初の赴任先は岩

東支部規約の一部改正

規約第5条の支部役員の中の支部委員(区長)26名を代表4名に変更し、支部委員代表は第13条に規定するブロック(南友部、柿橋、宮前鴻巣、五平)からそれぞれ1名ずつとした。

「エール募金」への協力

友部地区社協では、新型コロナウイルス感染症の治療に当たっている県立中央病院を応援するための募金活動(エール募金)に協力することを決め、東支部も社会福祉協議会を通じて3万円を寄付しました。



女性部の総会風景

令和3年度女性部総会

5月9日、地域福祉センターともべにて女性部の総会が開催された。

広報委員を募集!!

東支部(特に南友部、宮前鴻巣)の広報委員を募集します。広報紙作成に興味のある方はぜひ参加して下さい。連絡をお待ちしています。
(☎77-8469 内田まで)

令和3年度広報委員

南友部ブロック
深谷チイ子
柿橋ブロック
六戸正夫 岩田孝司
宮前鴻巣ブロック
内桶道子
五平ブロック
鈴木龍子 斎藤義範
内田利一



菜園での農作業

を取りまとめました。昨年(2020年)米寿を迎え、高齢者叙勲にて瑞宝双光章を授与されました。

85歳の時には、子供に勧められて車の免許を自主返納され、行動力は少なくなりましたが、週2回のグラウンドゴルフにはご夫妻一緒に参加しています。また、庭に隣接する70坪の菜園には、キャベツ、ネギ、アブラナなどを栽培され、菜園で作業をすることを楽しみにしています。

元気の源は、「三度の食事をきちんと摂る」「人の繋がりが大切に」「体を動かす」とです。最近、耳が遠くなつて不便を感じるようですが、これからの元気にお過ごしください。(聞き手 内田利一)

編集あとがき

新型コロナウイルス感染拡大の中、恐怖と不安な日々、地域においても人との交流や活動の自粛、未来ある子供達の行事縮小や部活動に影響が及び、とても残念ですね。不安はありますが、一日も早くワクチン接種を受け、ウイルスの収束を願うばかりです。そして当たり前の日常生活に戻ってくる日を待ちたいです。

自然の移り変わりは早く、野山は新緑となり、鳥たちの力強い歌声に癒され元気が出ます。今後も皆様方の力を頂き、地域の情報をお届けしたいと思っています。(深谷チイ子)